

牛久：学校周辺に見る自然

第25号 みずべ公園（ひたち野うしく小）

2020年2月13日発行

＜ 冬のみずべ公園 ～③もっと、樹木名札のうらをのぞいてみよう。＞

前号でヨコヅナサシガメ幼虫ようちゆうの集団越冬しゅうだんえつとうを紹介しましたが、今回はもう少し、名札うらに見つけた虫たちをのぞいてみましょう。



コナラなふだうらの名札裏に見つけたジョロウグモらんの卵らんのうらん（左）、イオウイロハシリグモらん（中）、ワラジムシらん（右）。



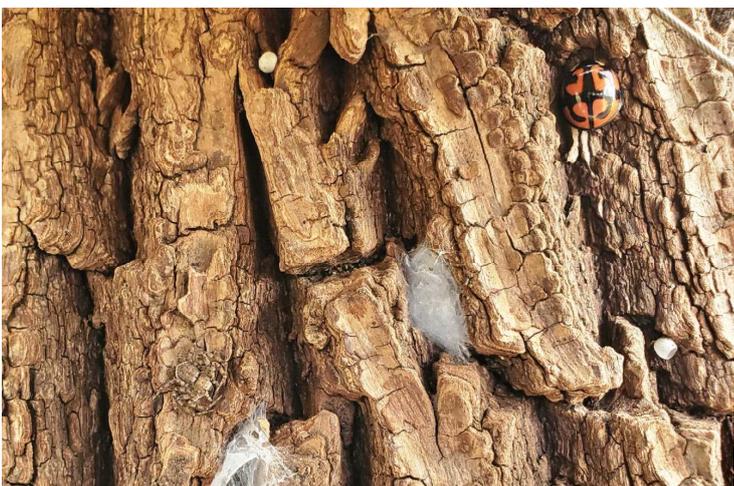
コナラなふだの名札のうらでは、イオウイロハシリグモとワラジムシ、それにジョロウグモの卵らんのうらんを見つけました。どれも、幹みきのくぼみの中に、すっぽり埋うもれるようにしていました。



アカシデなふだの名札うらには、クモとうが2頭とその巣すらしきもの、よく見ると小さな赤いダニななま（タカラダニか?）もいました。仲間ななまのイヌシデらんの幹みきにも、マイマイガらんの卵塊らんやハラビロカマキリらんの卵らんのうらんが付いていることがあります。駆除くじよしているのか、ガたまごの卵たまごはここ数年ずいぶん少なくなりました。

アカシデなふだうらの名札裏に見つけたクモとう2頭。右上には赤い小さなダニななま（タカラダニ?）もいました。

そして、シダレヤナギなふだの名札をめぐると、やなぎの葉を食べて育つヤナギハムシやヤナギルリハムシようちゆうの幼虫ようちゆうを食べる、カメノコテントウがいました。アカシデにいたのと同じようなクモもいます。白い何かの卵たまごもありました。けっこう、いろいろいますね。名札をめぐるときは、虫たちが落ちてしまわぬように静かにめぐり、静かに閉じましょう。【理科支援員：宮内】



シダレヤナギなふだうらの名札裏に見つけたカメノコテントウとクモ。白い小さな卵たまごもありました。